

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

【照会先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
血液内科・清水 皓己

【研究責任者】

聖路加国際病院 内科 清水 皓己

悪性リンパ腫の方を対象とした

可溶性 IL-2 受容体の治療後推移と予後に関する研究

1.研究の対象

2003年7月～2016年6月までに当院で悪性リンパ腫の治療を受けられた方

2.研究の目的・方法

悪性リンパ腫では血液検査項目にて可溶性インターロイキン2受容体が上昇することが知られており、診断や再発指標として使用されています。しかし、悪性リンパ腫の治療過程において数値の変化が各疾患の予後にどのような影響を及ぼすかを研究した論文はありません。

本研究では、診療録(カルテ)に記載されている内容を後ろ向きに集めることにより、この関係性を調査する予定です。この調査では通常の保険診療以外の診療行為を行うことはなく、氏名・住所などについても院外に出ることはありません。調査機関は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》 性別、カルテ番号、生年月日、抗がん剤治療の治療歴等

《試料》 血液、手術で摘出したリンパ節等